

エルサルバドル日記 JICA



シニア海外ボランティア

平成26年度第4次隊 氏名：原 美子 職種：障害児・者支援 派遣国：エルサルバドル

サンミゲル特別学校卒業式

エルサルバドルの学校は、1月中旬に始まり、11月中旬で修了します。サンミゲル特別学校は、11月11日が修了式、23日が卒業式でした。今年度の幼稚園を卒業する子どもたちは8名。1月からは小学生になります。卒業式には、女の子は、青いドレスに青い髪飾り、男の子は、白いワイシャツに黒のベストと蝶ネクタイとおめかしして参列。大勢の参列者の前で少し緊張気味な表情でした。じっとしているのが難しい子どもたちも、この日は、日頃と違った雰囲気を理解し、しっかり式に参加することができました。一人ずつ、卒業証書と、おもちゃのプレゼントをもらってとっても嬉しそうでした。長い休み中は、敬虔なキリスト教徒が多いので、クリスマスなど家族との行事を大切に過します。また、小さい時から家の手伝いもよくするようです。また、1月に元気な顔を見るのが楽しみです。



幼稚園を卒業する子どもたち



おめかしした幼稚園児とおかあさん

サンミゲル特別学校卒業後は社会人に

職業訓練クラスの卒業生は9名。25歳の青年たちです。在学中は、パン作り、ピニャータ（張子の人形）作り、刺し子縫い、紙製品作りと、いろいろな作業を学びました。卒業後は、飲料水を販売する会社などで働く方もいますが、ほとんどは、家の仕事を手伝います。エルサルバドル全体でも仕事に就けない若者が多い中で、障がいのある方々の就職は難しいのが現状です。さらに、小学生で卒業する児童が2名。2人とも肢体不自由のある子どもたちで、これから在宅になり、週1回の作業療法士の家庭訪問だけになります。少しでも、外に出る機会があることを願っています。家族のつながりを大切にするこの国の人々は、親族中で子どもの面倒を見たり、障がいのある子どもたちの世話をします。掃除や炊事など、家の手伝いをしっかりやって、みんなから愛され幸せな生活を送ってほしいと願っています。



卒業後は社会人になる職業訓練クラスの卒業生たち



卒業証書